

事件を會社代表の資格なき人々と幾度交渉を重ねるも何等意義を爲すものでないことを考へ止を得ず遺憾の意を表し本件の交渉を打切つて退出した。

其後續々入港する外航船熊野丸、六甲丸、博愛丸、長崎丸、静岡丸、リマ丸、筑波丸(大阪)は何れも前記各船と同様に悉く盟休に参加した此間船を離れて上陸したる屬員もあつたけれども法令に觸れない範圍即ち二十四時間以内に歸船し各船に於て (1)當直 (2)點燈 (3)副汽罐係 (4)炊事其他火氣取締乃至船舶の安全維持に就ては平素に倍し一層の注意を以て勵行し何等輕舉又は違法の行動に出づる者なく實に整然たる秩序を維持した之と同時に郵司同友會金壹千圓、東洋汽船會社其他郵船以外の各社船員より本件盟休以來非常に緊張したる同情的物質援助を申出であり殊に大阪商船會社甲機所屬の互友俱樂部に於ては盟

休船員の後援として一人に付月額金七圓五拾錢を醸出し何時にても盟休船員の糧食配給に備へ又組合に於ては多數の宿舍を用意して何時にても盟休船員を收容すべく一切の準備遺憾なきまでに整頓し之に加ふるに商船同志會、海友會其他海員並に新聞記者有志の應援演説あり斯の如く熱烈にして一致緊張せる具體的同情は全く盟休船員後顧の憂を絶ち極めて平靜裡に沈着自重の態度を持續し益其結束を強固ならしめ以て秩序ある盟休を繼續する上に於て偉大の實力を加へ如何に長期に亘る持久戦と雖も寸毫も不安の虞なきことを保證した。

先是長崎に在る上海丸、彦島船渠の春日丸、宇野船渠の山形丸より盟休参加に對し熱烈なる激勵電報ありたるも今回の盟休は神戸以外に及ぼさざる方針であるから其旨返電して平素の通り従業することを勸告した。